

校長通信

止まり木



令和5年(2023年)

3月10日発行

第37号

大阪市立横堤中学校

# WBC開幕!



3月8日から「WBC」(ワールド・ベースボール・クラシック)

が開幕しました。「WBC」は「WBSC」(世界野球ソフトボール連盟)が公認する野球の世界一決定戦。第1回大会は2006年、第2回は2009年に行われ、2大会連続で日本が優勝しました。これ以降は4年に1度の開催となりましたが、2021年の第5回大会は新型コロナウイルスの感染拡大で2023年、今年に延期となりました。次回は2026年に開催される予定となっています。

今回の大会は、前回、本大会に出場した16カ国と予選を勝ち抜いた4カ国、計20カ国が本大会に出場することになっています。1次ラウンドは5カ国が4つのプールに分かれ、リーグ戦を戦い、各プール上位2カ国が準々決勝に進出し、トーナメントで優勝国を決定することになっています。日本はプールBで中国・韓国・チェコ・オーストラリアと予選を戦うことになっています。

開幕前から話題を独占していた大谷選手は強化試合で驚愕の2打席連続スリーランホームランを放つなど、その力を見せつけていました。いよいよ日本の開幕試合となった昨日の中国戦、二刀流で先発した大谷選手は、安定したピッチングを披露、なかなか点が入らない重苦しい雰囲気を一掃する2塁打を放つなど、素晴らしい活躍で日本の勝利に大きく貢献しました。

WBC関連のニュースが、連日放送される中で校長先生が一番印象に残っているのは、ダルビッシュ選手の存在です。チーム最年長として精神的な支柱になっていることはもちろん、自ら若手選手に積極的にかかわっている姿が何度も映し出されていました。自分が今まで築き上げてきた**技術や知識を惜しみなく伝えている**姿に感動しました。さらにはそんな大選手であっても、自分より優れたボールを投げる若手選手には、その技術を教えてもらおうとする求道心があることも彼の偉大な一面であると思います。**一流の選手(ひと)は他から学ぶ力も優れている**のです。

そのダルビッシュ選手が今日、韓国戦で先発予定です。がんばれ日本!がんばれ侍ジャパン!



**公立一般選抜** 今日(10日)は公立高校の一般選抜です。今日の日まで、様々なことに挑戦、努力してきた成果が発揮されることを心から祈っています。朝、横堤駅にはそんな受験生を激励するために先生方を始め、進学先が決定している仲間が来てくれていました。本当にあったかく、やさしいなあと感動しました。さあ!平常心で受験の壁を突き破れ! 応援しています。